

## 青年僧の会 主催 夏の子ども合宿

いよいよ夏空まぶしく、  
扇風機やうちわが活躍する時期がきました。  
一年ぶりに風鈴をつると、  
久しぶりに涼やかな音が心なごませてくれます。  
皆様、お変わりありませんか。



さて今月末から、うれしい夏休みが始まります。  
岐阜西教区青年僧の会では、毎年仏様のご縁のもと  
友情と思いやりの心が育まれることを願い、  
五感で感じる「体験」をテーマにこども合宿を開いています。  
詳細が決まりましたので、ご案内いたします。

期日：平成28年7月25日（月）～26日（火）

会場：東光寺（とうこうじ）

岐阜県山県市小倉 618-41

☎ 0581-36-3005

参加資格：小学3年生～中学生

会費：お一人 3000円（当日徴収）

定員：50名（定員になり次第、募集を締め切ります）



### 《 持ち物 》

洗面用具 タオル タオルケット ハンカチ鼻紙  
ラジオ体操カード 常備薬 着替え パジャマ  
帽子 筆記用具 空の水筒 健康保険証の写し 雑巾一枚  
（お小遣い不要・ゲームカード類厳禁）

この合宿では、臨済宗妙心寺派の若いお坊さん達が  
各班の班長さんとなり寝起きを一緒にします。  
また台所ではたくさんのお坊さん達が、おいしいご飯を作ってくれます。  
こんなにたくさんのお坊さんと触れ合えるのも、この合宿の醍醐味でしょう。  
どうぞお気軽にご参加ください。

## 花園会本部 主催 大人のための夏期講座

大本山妙心寺では全国の檀信徒（花園会員）を対象に夏期講座を毎年開いています。  
ご興味のある方はぜひお申し込みください。

日時：8月26日（金）～28日（日）

場所：妙心寺・花園大学・花園会館

内容：禅学・仏教学他

申込：平成28年7月末日締切

費用：全日程コース 26,000円・1泊2日コース 17,000円



お問い合わせ先

妙心寺派宗務本所 花園会本部 ☎075-463-3121  
〒616-8035 京都市右京区花園妙心寺町64

# 大智寺だより

平成28年文月

Vol.75

発行所

大智寺

岐阜市山県北野  
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichiji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地  
の水小屋にてご自由にお取り  
いただけます。  
又、当寺ホームページにて  
過去の紙面をご覧いた  
だけます。ご活用ください。

6月号発行部数  
200部

ご愛読  
ありがとうございます

## 中門を修繕しました

柱の腐敗が進んでいた中門を先月修繕しました。  
 屋根は以前のまま残しましたが、それ以外はすべてケヤキで作り直しました。  
 大工は村井建築様と笠井修様にお世話になり、  
 屋根を持ち上げる作業では近松商会様にリフトをお世話になりました。  
 ありがとうございました。



出来上がった門の柱には、木材の保護のため住職が桐油を塗りました。  
 桐油は耐水性に優れ、木材に塗った時に色の変化が少ないそうです。  
 木の呼吸を妨げず、無垢素材によく適しているようです。



ケヤキの材木が想定以上に余ったので、  
 予てより観光のお客様から「本堂には入りにくいのでどこかに設置してほしい」とご要望いただいていたお賽銭箱を作り、中門に設置しました。

出来立てホヤホヤの中門ですが、これからまた長い年月をかけて  
 お寺の境内になじんでいくことと思います。

## 7月 お盆の棚経



今年も13・14・15日に、  
 いつも通り棚経に回ります。日程は個別にお電話でお伝えした通りです。  
 ただ交通状況などにより、多少時間が前後するかもしれません。  
 暑い盛りですが、どうぞよろしくお祈りします。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～  
 (実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc  
 わからないこと 質問帳 ②④



「女性でも気楽に参加できる禅体験ってありますか？」

お寺の暮らしそのものを体験したいとなると、  
 宿泊することにもなるので女性ひとりで気楽に参加できるものも限られてきます。  
 最近「寺ガール」というお寺好きの女の子もいらっしゃるようで、  
 妙心寺派では時代に合わせてそんなご要望にお応えできる体制を整え始めています。

中でも平成14年に開設された尼僧専門道場天衣寺(岐阜市)では、  
 女性が日々厳しい修行に励んでいる傍ら、一般女性の修行体験(女性禅学林)を続けています。  
 10年ほど前からこうした活動に取り組んでいます、  
 坐禅を体験するだけでなく禅の教を学んだり、写経を体験したりします。  
 道場では歩く時は左足から、また食事においてもどの椀から手に取るのかが決められており  
 そうした規則の説明を受けることができます。

日程：9月25(日)・26(月) / 10月25日(火)・26日(水)  
 11月25日(金)・26日(土) / 12月10日(土)・11日(日)  
 参加費：1泊2日コース 5,000円 / 3泊3日コース 15,000円

●問い合わせ先：妙心寺派宗務本所 教学部 TEL.075-463-3121

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から  
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典  
31ページより

②5

「<sup>そのときに</sup>其時何<sup>たのむ</sup>をか頼むべき <sup>でんばたあまたある</sup>田畠数多有るとても」

人間は誰でも、王者であろうと大富豪であろうと  
生まれるときは裸で貧しく生まれて来、そして死ぬ時も裸で貧しく死んでゆかなければならない。  
このしばらくの中間をさまざまの着物を着る。

女王のような華やかな着物、乞食という衣装、僧服、金持ち、社長、美人、  
さらには主義とかうぬぼれとか劣等感とか、すべて衣装。

ほとんどの人がこの衣装にばかり目をうばわれて一生を終わる。  
すべてを脱ぎ捨てて裸の私自身をどうするかを、まったく忘れてしまっている。  
( ルソー「エミール」より )

死を迎えるその時、頼りにできるのはこの「裸の自分」ただひとつとなります。  
一日 24 時間、一年 365 日のうち、衣装をすべて脱ぎ捨てている時間はどれほどあるでしょう。  
実は衣装を着ていることすら忘れていたように感じます。

菩提和讃では、ここからしばらくこの「衣装」の話が続きます。

↑↑↑のくまじゅ

いよいよ日差しも強くなってきました。  
皆様、暑々のお見舞いを申し上げます。

最近「夏らしく南国を感じられるかも」と、  
頂きものの「コナツオイル」を少しずつ使っ  
ています。今まであまり使ったことがなかつ  
たので初めはびっくり、台所中が南国にお  
いでいっぱいになりました。ちょっと気恥  
かしいなあと思っていた矢先、ひよんなこと  
からどらやきに塗って見たら、これが唸る程  
おいしくまたまたびっくり。「バタドラ」なら  
ぬ「夏ドラ」と称してお店で商品開発すれば  
売れるのでは、と思いつつ食べていたらあつ  
という間に体重が増えました(笑)

偶然こんな嬉しいマッチングを発見(?)  
できるのは、台所の中だけに限りません。お  
気に入りの花瓶によく似合う花に出会った  
時、使い古した洋服が新品のスカーフをかけ  
て息を吹き返した時、「これには、こんなにも  
ぴったり合う相棒が存在したんだな」と嬉し  
くなります。それぞれ単体であった時の何倍  
も魅力的に本来の輝きを発し始めます。

この世に存在するすべての生き物、人工物、  
石など無機物でさえ、もしかしたら完成した  
姿のものなどなく、パズルのピースのような  
凹凸があり、それぞれが相棒を探し、巨大な  
パズルを組んでいるのかもしれない。  
「夏ドラ」を食べつつ、自分も命あるピース  
として「お寺にぴったり」を目指して頑張り  
うと思う今日この頃です。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

趣向を変えて、ナスを使った和風グラタン

- ① 粟麩（半分）は1cmの角切り、ナス3本を1cmの輪切りにし小麦粉をまぶす。
- ② 熱したフライパンに油大さじ5を入れて粟麩とナスを軽く炒める。
- ③ このフライパンの中に水 100cc、塩小さじ半分、醤油小さじ2を入れ  
さらに豆乳 200cc に白味噌大さじ半を溶いてから入れ、  
沸騰したら火を止める。
- ④ フライパンの中身をグラタン皿に入れて、オーブンで焼き色を付ける。



これは妙心寺の門前にお店を構える精進料理「阿じろ」のレシピです。お味噌は白味噌に限らず  
普段のお味噌でもいいそうです。もうおナスの時期、ちょっと涼しい日のお夕食にどうぞ。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

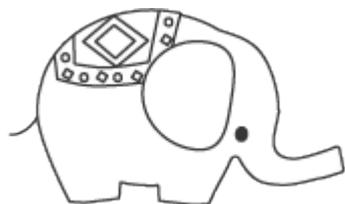
初心者 大歓迎  
東日本大震災物故者追善供養  
毎月 第四日曜日  
定例写経会

今月の日程

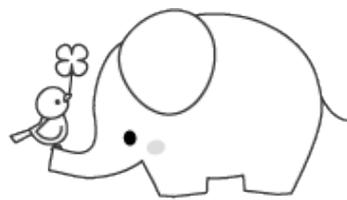
7月24日(日) 一回 500円  
(朝8時~9時) (内300円は義援金)  
要申込

6月写経会 備忘録

池の花菖蒲もきれいに咲きそろった日曜日、遠くから多くの方にお出かけいただきありがとうございました。今回は落語「浮世床」を聞きながら、何事にもとらわれない心を学びました。落語のひとこと一言に仏教的なエッセンスが散りばめられた奥深いお話でした。今日は冷やしたわらびもちをおいしくいただきました。



大智寺の本尊様に見守られつつ、  
故人の新たな一步を本堂からお見送りする  
そんな一般葬を希望される方々へ



本堂を会場に営む 一般葬  
あれこれ

6 通夜

通夜では喪主の親族や地域の方がいろいろな役割を担うことがあります。

会場係、会計係、受付係、買い物係、案内係、配膳係など、  
葬儀社の方と打ち合わせてスムーズに弔問のお客様をお迎えられるよう心がけます。

お寺でお通夜を営む際、特に気を遣うのが案内係です。

境内はあまり電灯がないので、案内係の方はなるべく山門のあたりでお客様をお迎えし

初めて大智寺にいらっしゃった方には大玄関までの道筋を案内します。

もし人手に余裕があれば、大玄関前にも案内係がいると安心です。

なお、お寺の構造上バリアフリーではありませんので、

本堂を会場にしようか検討される場合は、

車いすのお客様の有無を必ず考慮していただければと思います。

通夜が終わると、残った弔問客に喪主が挨拶をして区切りとなります。

それぞれ故人のお顔に手をあわせ、お別れします。

お客様は遠慮して早めに帰られる方もいらっしゃるので

通夜ふるまいの声掛けはなるべく早くしておきます。



ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む  
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、  
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、  
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。

必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、  
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて  
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～  
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が  
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に  
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。  
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから  
「完全個別永代供養墓」といいます。

詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、  
ご予約の上 ご来山ください。